

公開講座 第15回光明池セミナー 報告

先に実施しました公開講座「光明池セミナー」について、下記のとおり報告します。また、あわせて参加いただいた皆様、運営にご協力をいただいた皆様に心よりお礼申し上げます。

1 第15回光明池セミナーの概要

日 時 令和元年11月9日（土）午後2時から4時30分

場 所 大阪母子医療センター 研究所大会議室

対 象 府民、府内の幼稚園、小学校、中学校、高等学校の教職員
及び保護者、教育関係者、病院関係者

内 容 テーマ「よくある子どもの消化器系疾患・栄養疾患」

(1) 講演Ⅰ「子どもの腸の病気(過敏性腸症候群・潰瘍性大腸炎など)」

大阪母子医療センター消化器・内分泌科医長 萩原真一郎医師

小児を内視鏡検査できる施設が少ないため原因不明で様子見されていることも多い疾患であるが、成人に比べ重症化しやすいとの説明があった。また実際の内視鏡画像などを見ることができ、非常に貴重な講演であった。

(2) 講演Ⅱ「子どもの便秘・子どもの肥満」

大阪母子医療センター消化器・内分泌科主任部長 恵谷ゆり医師

便秘では、トイレトレーニング時に補助椅子ではなく「おま

る」を使用することで、足に安定感を持たせながら自分のタイミングで行くことが重要との説明があった。治療に際しては本人の納得と心の準備が何より大切であるとの話があった。

2 アンケート結果報告

・参加者について

外部から 60 名の参加があった。アンケート回収(55 名)

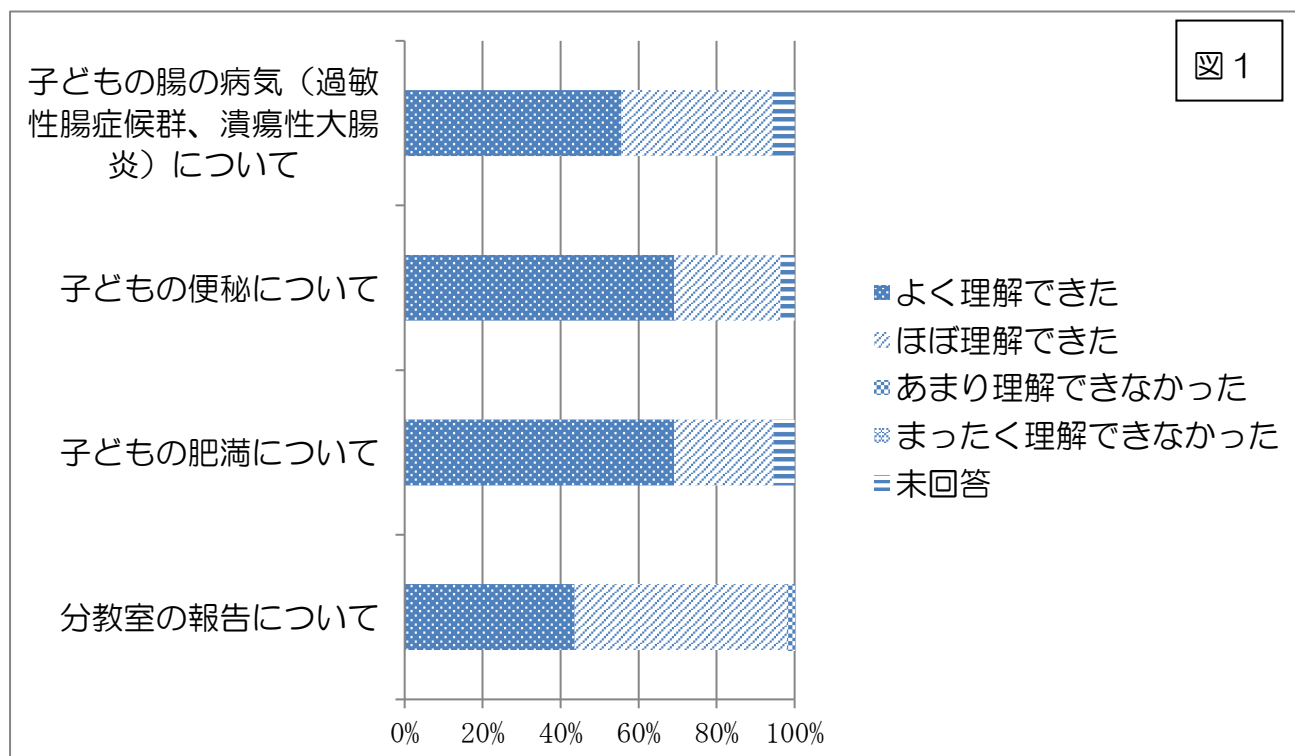
回収率 92%

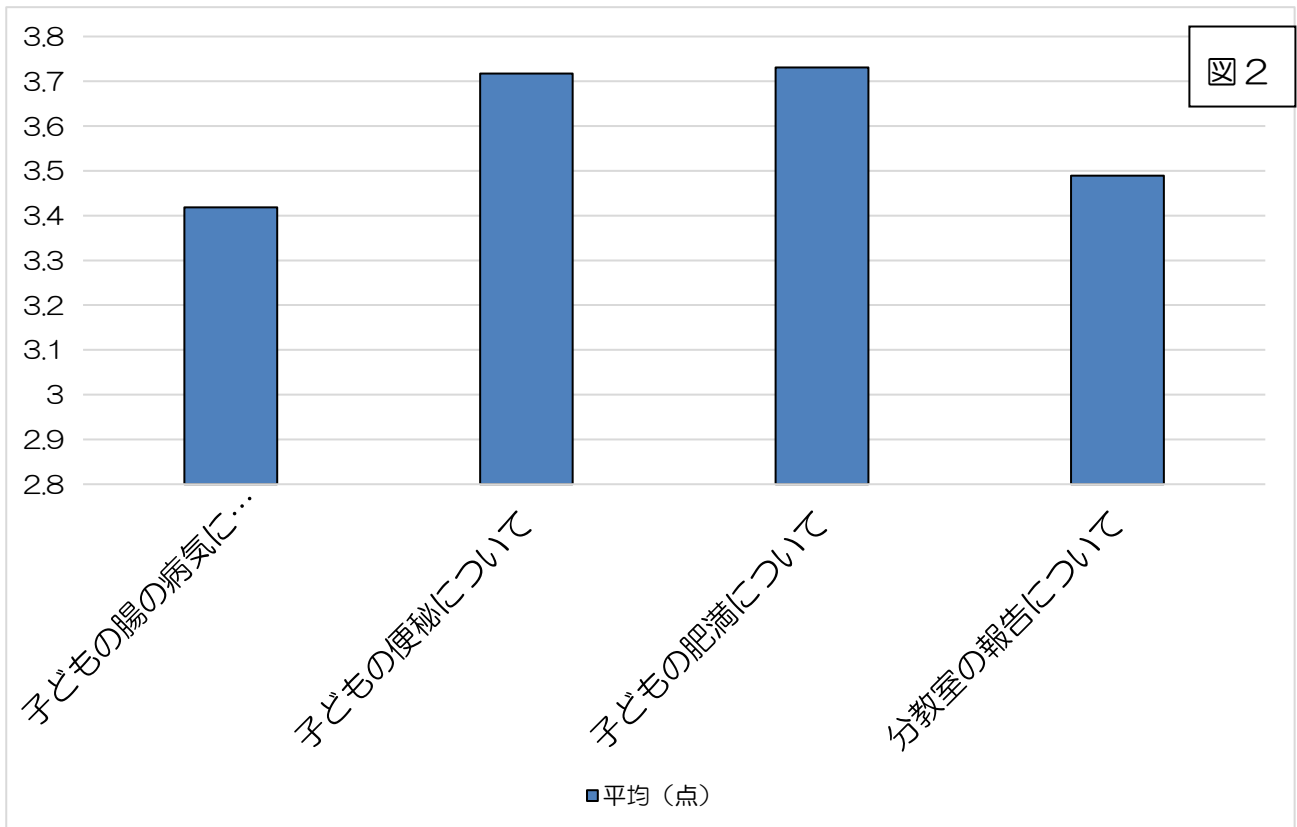
(1)校種・職種

幼稚園 保育園	小学校	中学校	大学	支援 学校	養護 教諭	看護師	栄養士	こども 園	未回答	合計
7	9	2	1	3	5	9	2	5	12	55

(2)講義内容について

(アンケートは4点法で集計。平均2.5点以上が肯定的評価である。)





3 考察とまとめ

(1) 図2では、どの項目についても3.4を超えており、好評であった。

(2) 参加者の約半数が中学校までの子どもに携わる仕事に就いており、現場において早い段階から腸や便秘に困り感を持つ子どもが多くなっていることが伺える。

(3) 質疑応答では、学校看護師や保育士より現在関わっている子どもの疾患に関する質問が寄せられた。専門家の医師からの回答を全体で共有できたことで、学びを深める貴重な機会になった。